

あなたの声を県政に、伝えよう私たちの心、夢かなうひょうごへ

議会広報PRキャラクター
ひょうごはかせ
「兵議博士」

ひょうご 県議会だより

想いをひとつに
心あたまる県政を
～対話から生まれるぬくもり～



健康福祉

常任委員会
(神戸市 福祉のまちづくり研究所)

総務

常任委員会
(姫路市 いえしまコンシェルジュ)

産業労働

常任委員会
(神河町 峰山高原)

建設

常任委員会
(南あわじ市 大鳴門橋)

文教

常任委員会
(香美町 県立香住高等学校)

農政環境

常任委員会
(加東市 東条川疎水)

警察

常任委員会
(西宮市 阪神南広域防災拠点)

常任委員会では、所管する事務について現地調査を行っています。(4面に活動紹介を掲載)

第373回

12月定例県議会の概要

12月2日～12月12日

その他の概要は2面に掲載

令和7年度12月補正予算(緊急経済対策)を可決

補正予算規模 918.8億円

今般の国の総合経済対策(18.3兆円)を踏まえた物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を活用し、長引く物価高騰の影響を受ける県民生活を下支えするとともに、養殖マガキの不漁やインターネット人権侵害の防止、ナガエツルノゲイトウの緊急防除といった9月補正予算編成後に生じた新たな財政需要に対応する補正予算を可決しました。



補正予算概要

1 県民生活の安定化に向けた支援 340.1億円

- 足元の物価高への対応 (ひょうご家計応援キャンペーン「はばタンPay+」第5弾の実施 など)
- 賃上げ環境の整備(医療・介護等支援パッケージへの対応)
- 播磨の養殖マガキの不漁に対する応援パッケージ ● インターネット人権侵害の防止

2 社会基盤の充実・強化 578.7億円

- 防災・減災、国土強靱化の推進 ● ナガエツルノゲイトウ被害への対応

代表質問の一部をご紹介します

12月5日

選ばれる兵庫に向けた
産業立地の促進について



自由民主党
よしあか
吉岡 たけし
〔神戸市垂水区〕



Q 全国的に不足の産業用地の造成には、道路整備、上水道、工業用水道、排水、高圧電気線路や変電所、更に規制緩和等が必要であり、知事をトップに据えた体制をつくり、今後もモノづくり県兵庫を未来につなぐべき。

【答弁者：知事】

A 県内で分譲可能な産業用地が将来に減少すると予測される中、用地確保による立地の促進は課題である。今後は、ひょうご・神戸投資サポートセンターの機能強化、尼崎フエニックス事業用地や臨海部の未利用地の早期分譲、市町主導の市街化調整区域での開発計画への規制緩和や技術的支援、産業インフラの活用などの総合調整を行う知事トップの全庁横断的な推進体制の整備を検討し、関係部局が一体となった戦略的な産業立地を展開する。

不登校児童生徒支援員の全校配置と
支援体制の強化に向けて



公明党
こうみ ひろき
小泉 弘喜
〔尼崎市〕



Q 支援員の存在は、子どもたちが安心して学校生活を送る中で大きな効果を発揮している。一方、学校との情報共有が不十分で支援員が悩み孤立するなど課題もある。小学校全校配置を早期に行い、支援体制の強化が必要。

【答弁者：教育長】

A 支援員の配置は、教員などからも生徒への支援に効果が出ているという肯定的な回答がある。支援員には教育事務所単位や市町単位での研修会を実施し、校内サポートルームの運営が円滑に進むよう実践事例集により周知している。議員からの指摘や、市町教育委員会からの小学校全校への支援員の配置拡充に向けた強い要望があり、令和8年度当初予算編成過程の中で、小学校での全校配置を視野に入れ、支援員配置支援の拡充を検討したい。

県信用保証協会の改革について



維新の会
いじま よしお
飯島 義雄
〔姫路市〕



Q 県信用保証協会の理事長は知事が任命し、これまで県OB職員が就任している。昨年の私の12月代表質問以降、この一年で理事長の選定の改革について、どのような検討が進められたのか。民間人材等、公募への道筋はどうか。

【答弁者：副知事】

A 県信用保証協会の理事長の選定については、公正性の確保と説明責任の徹底を重視し、選定方法の見直しについて、同協会と協議している。現理事長の任期は令和8年度までであり、令和9年度からは、公募や経済団体等からの推薦による複数候補者の中から選定する方式などの導入に向け、検討を進めていく。

県立病院の運営について



ひょうご県民連合
おかやま しほ
迎山 志保
〔加古川市〕



Q 持続的に安全・安心な医療を提供できるよう、経営の危機に直面している県立病院をどのように運営していくのか、病院事業管理者の決意を伺う。

【答弁者：病院事業管理者】

A 病院運営において急激な物価や人件費の上昇を診療報酬に転嫁できず、令和6年度は過去最大となる赤字を計上することとなり、危機状況に陥っている。この危機を乗り越えるためには、職員全員が一丸となり、強い覚悟を持って経営改善策を着実に進めることが必要である。各病院長とともに強いリーダーシップを発揮し、県民に安全安心な医療を提供する最後の砦としての県立病院の使命を果たしていくため、あらゆることに取り組んでいく。

※代表質問・一般質問の様子は、各QRコードからつながる「インターネット中継」でご覧いただけます。

第373回 12月定例会議の概要

予算及びその他議決案件

〈議員提出議案〉(可決 計1件)

- 「議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」

〈知事提出議案〉

(撤回の承認 計1件)

- 「知事及び副知事の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例」(第77号議案)

(可決・承認・同意 計46件)

- 「令和7年度兵庫県一般会計補正予算(第3号)」
- 「令和7年度兵庫県一般会計補正予算(第4号)」
- 「インターネット上の誹謗中傷、差別等による人権侵害の防止に関する条例」
- 「兵庫県住宅再建共済制度条例の一部を改正する条例」 など

(継続審査 計1件)

- 「知事及び副知事の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例」(第146号議案)

請願 (採択 計1件)

- 物価・賃金上昇により医療・介護・福祉関係の経営が逼迫しており閉院や倒産が相次いでいる中で国民、患者、利用者の健康を守り、さらには国民皆保険の堅持を求める意見書提出の件

意見書 (可決 計6件)

- 物価・賃金上昇により医療・介護・福祉関係の経営が逼迫しており閉院や倒産が相次いでいる中で国民、患者、利用者の健康を守り、さらには国民皆保険の堅持を求める意見書
- JR ローカル線の維持に向けた国の積極的関与と支援措置を求める意見書
- 持続可能で質の高い福祉サービス提供体制の確立と、地域共生社会の実現に向けた抜本的政策の推進を求める意見書
- 公立病院等の厳しい経営状況に対する支援策を求める意見書
- 高齢者等のデジタルデバインド対策の充実強化を求める意見書
- 地方税財源の充実確保を求める意見書



定例会議会資料

広告

一般質問の一部をご紹介します

12月8日

北野実
〔姫路市〕
自由民主党



Q 不妊症等に関する支援推進条例」に基づく県の取組を評価する一方、妊娠成績把握など課題もあり、継続的支援の在り方について所見を伺う。

A 男性不妊を含む専門相談体制の充実、経済的負担の軽減など、体系的・継続的な取組を進める環境を整えている。今後は、治療と仕事の両立支援に向けた企業への働きかけ、プレコンセプションケアの推進など、市町とも連携し積極的な取組を展開していく。

大原隼人
〔尼崎市〕
維新の会



Q 本県のツキノワグマの目撃状況は激減しているが、来年度以降、引き続き喫緊の課題となる。人身被害防止にどう取り組むのか。

A 知事を会長とし、警察本部などを構成員とするツキノワグマ対策連絡会議を開催し、クマ出没予測等の情報共有、被害防止対策の一層の連携を確認し、県民に人身被害防止に向けた注意喚起メッセージを発信した。今後も、地域と一体となって持続可能なクマ管理を進め、人身被害の防止を図る。

松尾智美
〔姫路市〕
公明党



Q 持続可能なマガキ養殖に向けて、県と漁業者が連携したマガキの生育や漁場環境の調査、モニタリング体制を強化すべき。

A 県の海域環境情報に加え、漁業者の観測情報等も集約して調査精度を高めるとともに、観測期間を延長して通年実施するなど、漁場環境のモニタリング強化を検討する。併せて、これら情報を被害軽減や生産管理に活用できるように、速やかに漁業者へ伝達する仕組みも検討する。

橋本成年
〔宝塚市〕
ひょうご県民連合



Q 部費、カンパ、保護者会費など県立高校部活動の資金位置づけを明確にした、管理・説明責任の具体的な指針の策定について。

A 不祥事の再発防止に向け、部費は学校徴収金に準じて徴収、管理、出納、決算の取り扱いの徹底を周知しており、諸団体からの補助や援助は団体の規程に基づき適切に処理すべきものである。任意の支援には課題もあるが、不正防止体制や管理責任の確立を検討していく。

一般質問は
下記のQR
コードより
視聴できます。

12月8日



12月9日



12月9日

松本裕一
〔加古川市〕
自由民主党



Q 若者が県内で学び、働き、家庭を築き、地域活性化へつなげるため、若者・Z世代応援パッケージの効果・検証・改善について。

A 若者・Z世代応援パッケージを効果的に推進するため、行動変容を測る成果指標を設定し、全体の進捗を点検・評価する枠組みを整備した。検証結果は全庁で共有するとともに有識者会議に諮り、改善に繋げるとともに、躍動力フェ等を通じて若者の声を広く聴き、内容の充実を図っていく。

北村智
〔神戸市中央区〕
維新の会



Q 部活動の地域展開を見据え、スポーツハラスメント等の予防啓発と問題発生時の地域クラブ等の体制整備をどう進めるのか。

A 県独自の地域クラブ指導者資格講習会などを来年度から実施できるよう、現在検討している。また、体制整備については、県独自の「体制整備ガイドライン」の作成や、「地域クラブサポートセンター」の設置による相談窓口の開設などの検討をしている。

村岡真夕子
〔三木市〕
自由民主党



Q 地域特有の資源や強みを活かした産業立地や土地・空間利用等に向け、地域ごとに基本方針を策定することの必要性について。

A 県内各地域にはそれぞれ固有のポテンシャルがあり、それらを活かして活性化を図ることが重要であるため、地域創生戦略では県民局単位で方針を定めている。必要に応じてビジョンや方針等を検討しながら、地元の市町、関係団体、企業等と連携して取組を進めていく。

伊藤勝正
〔明石市〕
公明党



Q 県立がんセンター跡地への明石市民病院移転、粒子線センター機能のがんセンターでの継続について、現時点の可能性と検討状況は。

A 明石市は、6月策定の基本方針で市民病院移転候補にがんセンター跡地を示した。条件面の課題を踏まえ、市から正式要請後に協議を始める。粒子線センターの知見継承は重要だが、病院事業単独での施設整備は現実的ではなく、民間事業者等による整備・運営の可能性を探る。

浜田知昭
〔洲本市〕
自由民主党



Q 地域特性に即した市町域を超えた、広域連携による水道広域化推進プランの早期実現を、県がリーダーとなって推進すべきでは。

A 人口減少が進む中、施設を維持しながら更新や耐震化を進めるには、市町水道の経営基盤の強化が不可欠。国の補助制度創設などの動向を注視しつつ、県のリーダーシップのもと、長期的な視点で市町に広域化を働きかけ、安全で持続可能な水供給体制の確保に取り組んでいく。

用語解説

※1 ひょうご・神戸投資サポートセンター 兵庫県内での新規立地や事業拡張を検討されている事業者を対象として、ニーズに応じた用地紹介や優遇制度の案内、立地に関する各種手続きなどを総合的にサポートする相談窓口。 ※2 校内サポートルーム 学校に行けるけれど自分の教室には入りづらい、または気持ちを落ち着かせたい児童生徒が、校内で安心して過ごせる居場所。 ※3 プレコンセプションケア 性及び健康に関する知識を持ち、妊娠及び出産の希望を含む自らの将来を考え、健康管理を行うこと。

政務活動費の更なる適正な運用に向けて

政務活動費の不適切な使用への対応

松井重樹元議員による政務活動費の不適切利用に対し、12月12日、議会として生田警察署へ告発状を提出し受理されました。県民の皆さまの信頼を損ねたことを改めて深くお詫び申し上げます。警察の今後の捜査に協力するとともに、政務活動費の適切な執行に一層努めてまいります。

政務活動費調査等協議会の開催

学識者で構成する本協議会は、政務活動費に係る議長の調査権の実効性確保に資するため、①収支報告書の是正命令に関する意見、②適正使用に係る事項について調査・審議しています。12月22日には、執行状況及び制度見直しの方向性について、委員と各会派代表者が意見交換を行いました。

補正予算案に対する質疑(12月12日)

本定例会に提出された補正予算案に対し、下記の議員がはばタンPay+第5弾の今後の展開や、マガキの不漁に対する支援などについて質疑しました。

- ・橘 秀太郎(自由民主党)
- ・別府 けんいち(維新の会)
- ・里見 孝枝(公明党)
- ・小西 ひろのり(ひょうご県民連合)
- ・白井 たかひろ(躍動の会)
- ・庄本 えつこ(日本共産党)
- ・小林 昌彦(無所属)



マガキ



視聴はこちらから
(1:08:20 頃～)

次回の定例会は2月17日～3月25日の予定です。

広告

常任委員会の活動紹介

兵庫県議会では、7つの常任委員会が設置されており、本会議から送られてきた議案などを審査しています。議員はいずれか一つの常任委員会に所属しており、閉会中（会期外）においても、担当する行政施策の調査を行っています。各委員会の活動内容を紹介する動画を制作しましたので、各QRコードから、ぜひご視聴ください。

健康福祉

常任委員会

誰もが安心して暮らせる社会をめざし、健康・医療・福祉など、生活に身近なテーマを調査しています。今年度は特に「持続可能な病院経営」を重点テーマとし、調査・研究を行っています。9月には福祉のまちづくり研究所を訪れ、福祉用具やリハビリ支援技術等の研究開発現場を視察しました。これからも皆さんの声に耳を傾け、誰も取り残されない社会の実現のため、取り組んでいきます。

農政環境

常任委員会

自然と共生する持続可能な農林水産業の実現に向け、環境問題や農政振興などについて調査しています。今年度は特に「森林の多面的機能の持続的な発揮」について重点的に調査・研究に取り組んでいます。9月には東播・淡路地域を訪問し、農業や暮らしを支える東条川疏水や環境に優しい農業の取組を視察しました。これからも皆さんのご意見を聞き、委員一同、全力で取り組んでいきます。

文教

常任委員会

学校教育に関することや美術館・博物館といった社会教育に関することなどについて、県の取組が更に良くなるよう、現地視察も含めた調査・研究を行っています（表紙は県立香住高校海洋科学科視察の様子）。今年度は「部活動の地域展開」を重点テーマとしています。子どもたちが絆を育み、自分らしい「ありたい未来」を思い描き形にしていけるよう、委員一同、心を込めて取り組んでいきます。

総務

常任委員会

動画視聴はこちら

地域創生、防災・危機管理対策、スポーツ振興、デジタル化の推進など幅広い分野を調査しています。今年度は特に「地域創生の新たな展開」をテーマに、調査・研究を行っています。8月には家島や上郡町を訪問し、地域での暮らし存続を目指したまちづくりの取組などを調査し、現地で活躍する住民の方との意見交換も行いました。これからも皆さんの声に耳を傾け、全力で取り組んでいきます。

産業労働

常任委員会

兵庫を牽引する産業の創出や、中小企業の経営基盤強化、国際交流、観光振興などについて調査をしています。今年度は特に「観光振興による兵庫経済の活性化」について重点的に調査・研究に取り組んでいます。9月には峰山高原を訪問し、指定管理者としての運営状況を視察しました。これからも県民の皆さんの声を的確に反映させ、兵庫の産業の更なる活性化を目指し、全力で取り組んでいきます。

建設

常任委員会

交通基盤などの整備、安全・安心な県土づくり、魅力あるまちづくり、快適な住まいづくりに向けた調査をしています。今年度は「持続可能な公共交通のあり方」について重点的に調査・研究に取り組んでいます。11月には工事中の大鳴門橋自転車道整備予定箇所を視察し、新たな交通の可能性について調査しました。これからも皆さんの声に耳を傾け、委員一同、全力で取り組んでいきます。

警察

常任委員会

暴力団、特殊詐欺防止、交通安全の対策や、テロ・大規模災害対応などについて、調査を行っています。今年度は特に「特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺防止対策」をテーマとして、調査・研究に取り組んでいます。これまで阪神、播磨地域の警察関連施設等を視察し、現地の課題把握に努めました。これからも県民の皆さんが安心して暮らせるよう、全力で取り組んでいきます。

常任委員会と県民との意見交換会

地域で様々な活動を展開している県民の皆さんの声を直接現地でお伺いし、常任委員会の審議や調査研究活動を通じて県政に反映していくため、「常任委員会と県民との意見交換会」を県内各地で実施しています。

総務常任委員会（丹波篠山市・9月9日）

創造的職人宿場町福住事業協同組合や地区内事業者の皆さんと、「地域づくり人材の確保等の新たなアイデアによる地域創生の実現」をテーマに、地域内総生産の向上や、まち全体の再生を目指す“リジェネラティブな観光まちづくり”などについて意見交換を行いました。

産業労働常任委員会（豊岡市・11月13日）

城崎温泉観光協会の皆さんと、「観光振興について」をテーマに、DX化による旅館経営等の合理化への効果、教育機会の確保、相談対応、またインバウンド観光客の増加に伴うオーバーツーリズム、人手不足、二次交通等の課題などについて意見交換を行いました。